

取扱説明書

ColorEdge® PROMINENCE CG3145

HDR リファレンスモニター

このたびは当社HDRリファレンスモニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前は必ずこの取扱説明書および使用上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

重要

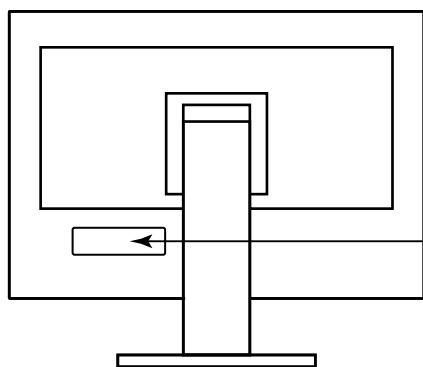
ご使用前には必ずこの取扱説明書および使用上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

- ・モニターの設定 / 接続については、セットアップガイドを参照してください。
- ・取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。

www.eizo.co.jp



警告表示位置



WARNING

RISK OF ELECTRIC SHOCK. DO NOT OPEN.

AVERTISSEMENT

RISQUE DE CHOC ÉLECTRIQUE. NE PAS OUVRIR.

WARNUNG

GEFAHR DES ELEKTRISCHEN SCHLAGES. RÜCKWAND NICHT ENTFERNEN.

警告

触电危险，请勿打开后盖。

警告

感電の恐れあり、カバーをあけないでください。

The equipment must be connected to a grounded main outlet.

L'appareil doit être relié à une prise avec terre.

Jordet stikkontakt skal benyttes når apparatet tilkobles datanett.

Apparaten skall anslutas till jordat nätuttag.

设备必须连接到接地式的电源插座。

電源コードのアースは必ず接地してください。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
- 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モニターについて

使用について

この製品は、色の再現性を重視する映像制作の用途に適しています。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

液晶パネルについて

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、有効ドット数の割合は99.9994%以上です。

モニターの表示が安定するまでに、約30分（当社測定条件による）かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。

長時間使用することによる輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、輝度を下げて使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。

表示状態を長時間続けると、表示面にシミやムラ、焼き付きが発生する場合がありますのでご注意ください。モニターを長くお使いいただくため、定期的にモニターの電源をオフにすることをお勧めします。電源をオフにする際は、モニター前面の電源ボタンを使用してください。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。長時間連続使用など、ご使用状態によっては、バックライトの寿命が早まり、交換が必要となる場合があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

液晶パネル面や液晶パネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、液晶パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

液晶パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

設置について

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

ラッカー系の塗料を使用した机にこの製品を置くと、スタンドの底面に使用しているゴムの成分により、色が付着する場合があります。ご使用前にご確認ください。

メンテナンスについて

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「[クリーニングの仕方](#)」（P.4）参照）。

クリーニングの仕方

キャビネットや液晶パネル面の汚れは、付属の「ScreenCleaner」を使用して、やさしくふき取ってください。

注意点

- ・アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットや液晶パネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
 - ・シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナーは、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。
-

モニターを快適にご使用いただくために

- ・画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- ・長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

目次

モニターについて.....	3	第5章 管理者向け設定.....	30
クリーニングの仕方.....	4	5-1. 「管理者設定」メニューの基本操作方法.....	30
モニターを快適にご使用いただくために.....	4	5-2. 「管理者設定」メニューの各機能.....	31
目次.....	5	第6章 キャリブレーション.....	33
第1章 はじめに.....	6	第7章 トラブルシューティング.....	34
1-1. 特長.....	6	7-1. 画面が表示されない場合.....	34
● 映像制作に強い、4K高解像度の大型液晶を搭載.....	6	7-2. 画面に関する症状.....	35
● HDR（ハイダイナミックレンジ）映像の表示をサポート.....	6	7-3. その他の症状.....	36
● カラーグレーディング作業をサポートする多彩な機能を搭載.....	7	第8章 ご参考に.....	37
● USBハブ機能を搭載.....	7	8-1. 複数の外部機器を接続する.....	37
1-2. 各部の名称と機能.....	8	8-2. USBハブ機能の使用法.....	38
● 前面.....	8	● 必要なシステム環境.....	38
● 背面.....	9	● 接続方法（USB機能のセットアップ方法）... ..	39
第2章 基本の設定.....	10	8-3. 仕様.....	40
2-1. ボタンの操作方法.....	10	● オプション.....	41
● 操作ガイドのアイコン.....	10	付録.....	42
2-2. 入力信号を切り替える.....	11	商標.....	42
2-3. 表示モード（カラーモード）を切り替える... ..	11	ライセンス.....	42
● モードの種類.....	11	VCCI.....	42
● カラーモードの設定値.....	12	その他規格.....	42
第3章 詳細な調整 / 設定.....	13	アフターサービス.....	43
3-1. 設定メニューの基本操作方法.....	13		
3-2. 設定メニューの各機能.....	14		
● 信号設定.....	14		
● カラー調整.....	16		
● スクリーン.....	20		
● 本体設定.....	24		
● 言語選択.....	26		
● インフォメーション.....	26		
第4章 カスタムキーの設定.....	27		
4-1. カスタムキーの基本操作方法.....	27		
4-2. カスタムキーの割り当て方法.....	27		
● カスタムキーに割り当てられる機能.....	29		

第1章 はじめに

この章では、モニターの特長と、各部の名称を説明します。

1-1. 特長

● 映像制作に強い、4K高解像度の大型液晶を搭載

- 31.1型ワイド画面にDCI 4K解像度（4096×2160）対応
デジタルシネマ規格であるDCI 4K解像度4096×2160に対応しています。また、フルHDの4倍を超える高解像度で、4K映像だけでなく、フルHD解像度のコンテンツを複数並べて表示できます。
- 広色域表示で映像の色味を忠実に再現
99%のDCIカバー率を実現し、高精度のカラーマネージメント環境を構築できます。
- 1,000,000 : 1^{※1}の高コントラスト比を実現
高コントラスト比で、引き締まった黒色を表示できます。
※1 標準値。保証値ではありません。
- 水平 / 垂直178° の広視野角なIPS液晶パネルを搭載


● HDR（ハイダイナミックレンジ）映像の表示をサポート

- 映画や放送向け、HDR国際標準規格に準拠
配信、映画制作向けのHDR「PQ方式」と放送向けのHDR「Hybrid Log Gamma（ハイブリッドログガンマ）方式」の両方に対応しています。「PQ方式」は、HDRの国際標準規格であるITU-R BT.2100^{※2}およびSMPTE ST2084^{※3}に、「Hybrid Log Gamma方式」はITU-R BT.2100に準拠しています。これにより、映画作品や放送コンテンツなど幅広いHDRコンテンツのカラーグレーディング作業に活用できます。
※2 ITU-Rは、International Telecommunication Union-Radio communication Sector（国際電気通信連合の無線通信部門）です。
※3 SMPTEは、Society of Motion Picture and Television Engineers（米国映画テレビ技術者協会）です。
- 高輝度 / 高コントラスト比を実現
専用のIPS液晶パネルと高輝度バックライトユニットの搭載により、高輝度 / 高コントラスト比を実現しています。
- カラーモード機能を搭載
ITU-R BT.2100などで定められた色温度、ガンマ、色域を再現できます。
「カラーモード」（P.16）参照

● カラーグレーディング作業をサポートする多彩な機能を搭載

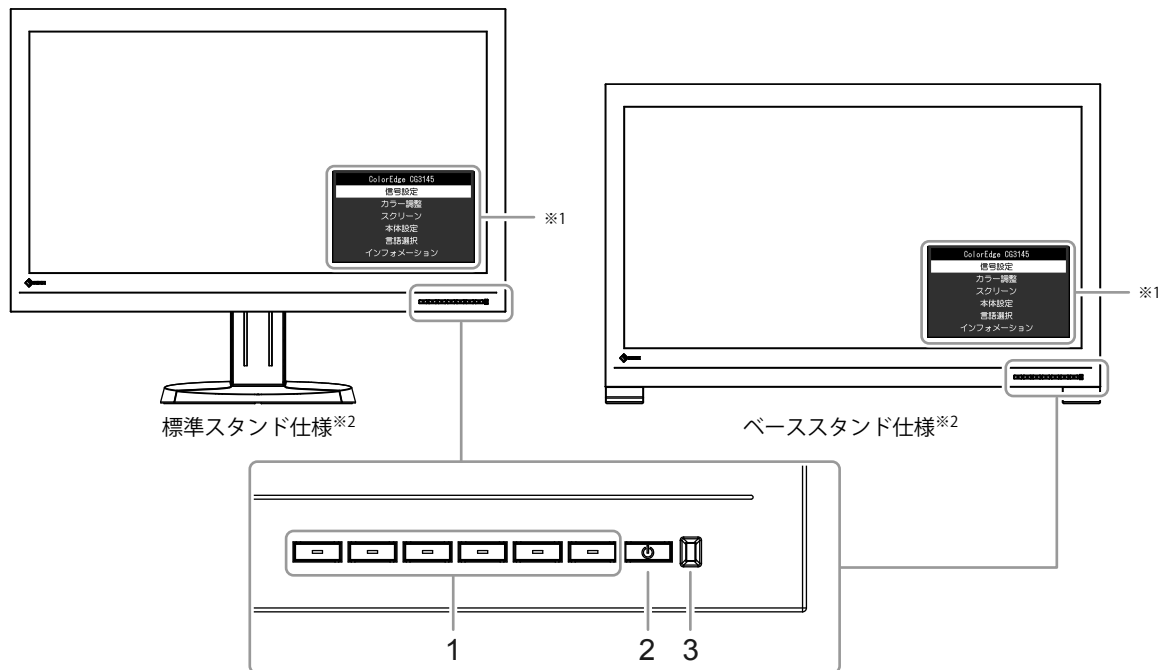
- 色域外警告機能、輝度警告機能など、映像制作専用機能を搭載
「第3章 詳細な調整 / 設定」 (P.13) 参照
- 4Kズーム機能を搭載
4K2K信号（解像度が4096×2160または3840×2160の信号）を画面に表示している場合、指定した領域を2倍に拡大表示することができます。映像の細部を確認するときなどに便利です。
「ズーム」 (P.21) 参照
- 任意に設定可能なカスタムキー機能を搭載
モニター前部にあるボタンに頻繁に使用する機能を割り当てることで、作業効率を向上できます。
「第4章 カスタムキーの設定」 (P.27) 参照
- 専用色管理ソフトウェア「ColorNavigator NX」に対応
ColorNavigator NXを使用することで、様々な映像制作規格に沿った表示調整をおこなえます。調整結果はモニターの各カラーモードに割り当てられるため、モニター前面のボタンで表示を切り替えでき、色管理を簡単におこなえます。
「第6章 キャリブレーション」 (P.33) 参照
- HDCP（著作権保護技術）により保護されたコンテンツを表示可能
- 遮光フードを標準で付属
照明の映り込みなどの外光反射を効果的に防ぐことができる遮光フードを付属しています。遮光フードはマグネット式で、簡単に着脱することができます。

● USBハブ機能を搭載

- USB3.0に対応
最大5Gbpsの高速データ転送を実現し、USBメモリーなどの大容量データも短時間で転送できます。
また、USBダウンストリームポートの  ポートは急速充電にも対応し、短時間でスマートフォンやタブレットを充電することができます。
「8-2. USBハブ機能の使用方法」 (P.38) 参照、「USB CHARGE ポート」 (P.24) 参照

1-2. 各部の名称と機能

● 前面

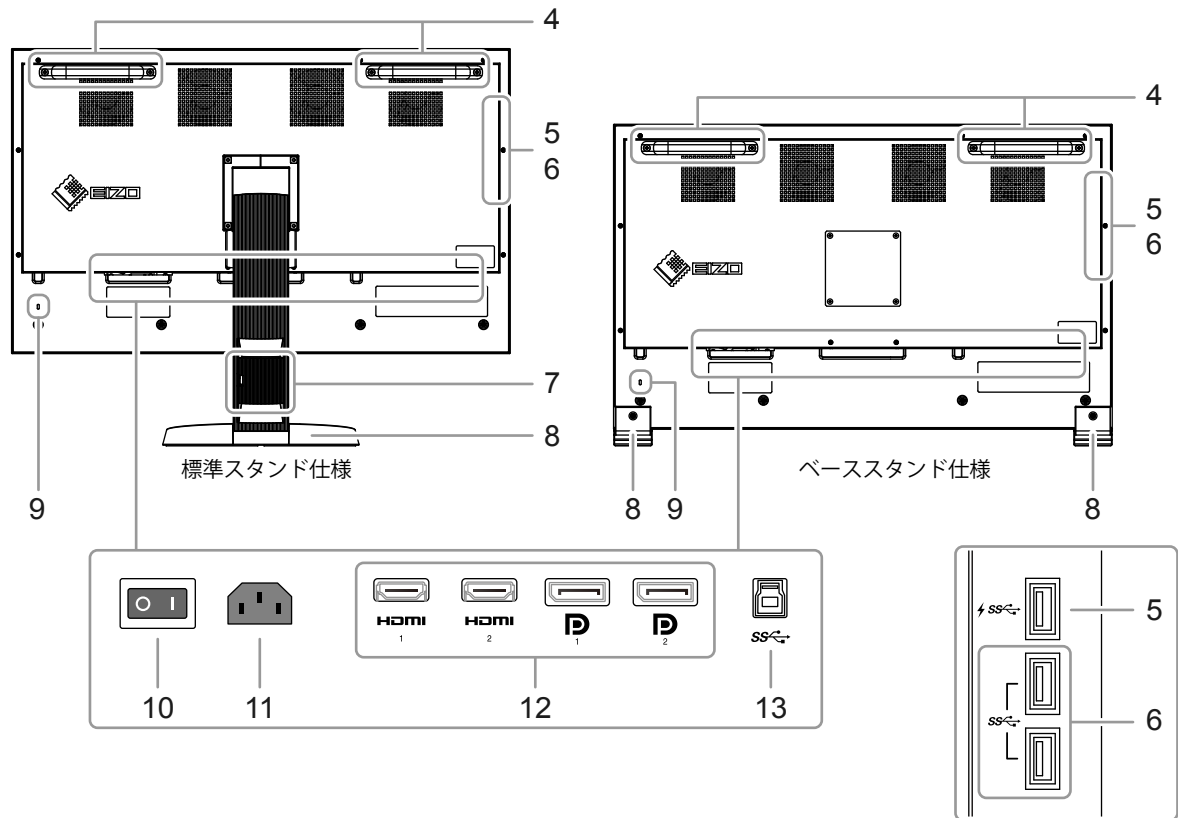


1. 操作ボタン	メニューを表示します。ガイドに従って操作します。
2. 電源ボタン	電源のオン/オフを切り替えます。
3. 電源ランプ	電源を入れると、ランプが点灯します。 モニターの動作状態に応じてランプの色が変化します。 青 : 画面表示 橙 : 省電力モード 消灯 : 電源オフ

※1 設定メニューの使用方法は、「3-1. 設定メニューの基本操作方法」(P.13)を参照してください。

※2 本書では、各スタンド仕様に共通の説明には標準スタンド仕様のイラストを使用しています。

● 背面



4. ハンドル	<p>運搬用のハンドルです。</p> <p>注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> 運搬時には2人でハンドルと画面の下部をしっかりと持ち、モニターを落とさないようご注意ください。
5. USB ダウンストリームポート (急速充電対応)	USBに対応している周辺機器と接続できます (P.24)。
6. USB ダウンストリームポート	USBに対応している周辺機器と接続できます。
7. ケーブルホルダー	ケーブルを収納します (標準スタンド仕様のみ)。
8. スタンド	<p>標準スタンド仕様 : 高さや角度 (スウィーベル) が調整できます。</p> <p>ベーススタンド仕様 : 高さや角度の調整はできません。</p>
9. 盗難防止用ロック	Kensington社製のMicroSaverセキュリティシステムに対応しています。
10. 主電源スイッチ	<p>主電源のオン/オフを切り替えます。</p> <p> : オン ○: オフ</p> <p>通常、主電源スイッチはオフにする必要はありません。</p>
11. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
12. 信号入力コネクタ	<p>背面の左から順に、次の入力コネクタがあります。</p> <p>HDMIコネクタ1</p> <p>HDMIコネクタ2</p> <p>DisplayPortコネクタ1</p> <p>DisplayPortコネクタ2</p>
13. USB アップストリームポート	USB接続が必要なソフトウェア、USBハブ機能を使用する場合にUSBケーブルを接続します (P.38)。

第2章 基本の設定

この章では、モニター前面のボタンを押すことで設定できる基本の機能を説明します。
設定メニューを使って詳細に調整/設定する方法については、「第3章 詳細な調整/設定」(P.13)を参照してください。

2-1. ボタンの操作方法

1. 操作ガイドの表示

1. いずれかのボタンを押します（**⏻**を除く）。
画面にガイドが表示されます。



2. 設定

1. 設定したいボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 各ボタンで調整/設定し、**☑**を選択して確定します。

3. 終了

1. **✕**を選択してメニューを終了します。

参考

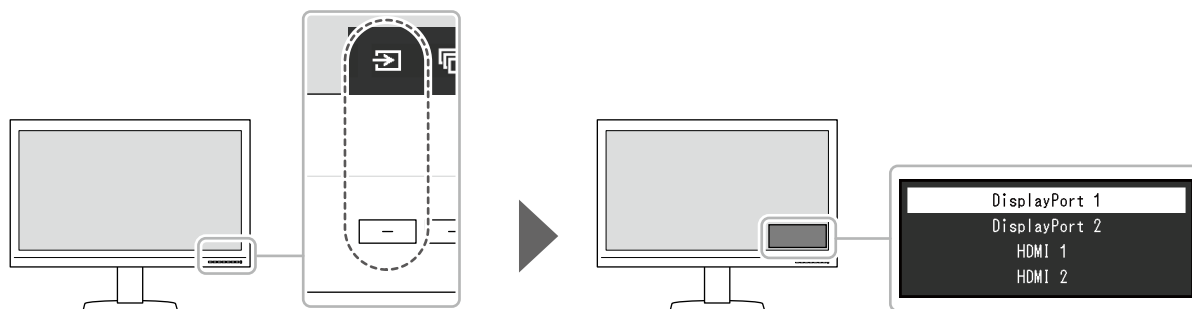
・ガイドの表示内容は、表示しているメニューや状態によって異なります。

● 操作ガイドのアイコン

アイコン	説明
	入力信号を切り替えます。
	カラーモードを切り替えます。
	カスタムキー1を実行します。
	カスタムキー2を実行します。
	設定メニューを表示します。
	ひとつ前の画面に戻ります。
	カーソルを移動します。
	決定します。
	モニターの電源のオン/オフを切り替えます。

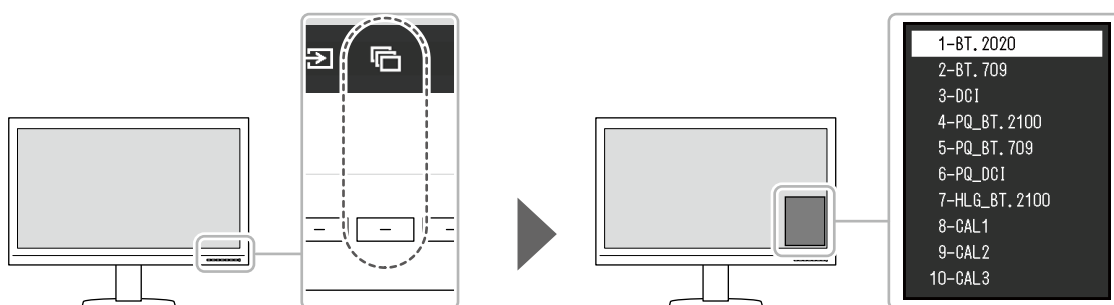
2-2. 入力信号を切り替える

モニターに複数の信号を入力している場合、画面に表示する信号を切り替えることができます。



2-3. 表示モード（カラーモード）を切り替える

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。



● モードの種類

カラーモード	目的
Standard Mode	モニターの設定メニューを使用して色の調整をおこなうモードです。
BT.2020	各カラーモードにおける詳細な設定値については、「 カラーモードの設定値 」(P.12)を参照してください。
BT.709	
DCI	
PQ_BT.2100	
PQ_BT.709	
PQ_DCI	
HLG_BT.2100	
Calibration Mode (CALモード)	専用色管理ソフトウェア「ColorNavigator NX」で設定した調整内容で表示するモードです。
CAL1	ColorNavigator NXによる調整状態で表示します。
CAL2	
CAL3	

● カラーモードの設定値

—：変更不可

項目	カラーモード									
	BT.2020	BT.709	DCI	PQ_ BT.2100	PQ_ BT.709	PQ_ DCI	HLG_ BT.2100	CAL1 / CAL2 / CAL3		
輝度 (cd/m ²)	100	100	48	1000	1000	1000	1000	—		
色温度	D65	D65	D65	D65	D65	D65	D65	—		
ガンマ (EOTF)	2.4	2.4	2.6	PQ	PQ	PQ	HLG	—		
PQ クリッピング (cd/m ²)	—	—	—	1000	1000	1000	—	—		
HLGシステムガンマ	—	—	—	—	—	—	1.2	—		
色域	BT.2020	BT.709	DCI	BT.2020	BT.709	DCI	BT.2020	—		
詳細 設定	色相	0	0	0	0	0	0	—		
	彩度	0	0	0	0	0	0	—		
	色域クリッピング	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オン	—	
	XYZフォーマット	—	—	オフ	—	—	オフ	—	—	
	ゲイン	Red	色温度から算出						—	
		Green							—	
		Blue							—	
	黒レベル	オール	0	0	0	0	0	0	—	
		Red	0	0	0	0	0	0	—	
		Green	0	0	0	0	0	0	—	
		Blue	0	0	0	0	0	0	—	
	6色	Magenta	色相	0	0	0	0	0	0	—
			彩度	0	0	0	0	0	0	—
			明度	0	0	0	0	0	0	—
		Red	色相	0	0	0	0	0	0	—
			彩度	0	0	0	0	0	0	—
			明度	0	0	0	0	0	0	—
Yellow		色相	0	0	0	0	0	0	—	
		彩度	0	0	0	0	0	0	—	
		明度	0	0	0	0	0	0	—	
Green		色相	0	0	0	0	0	0	—	
		彩度	0	0	0	0	0	0	—	
		明度	0	0	0	0	0	0	—	
Cyan	色相	0	0	0	0	0	0	—		
	彩度	0	0	0	0	0	0	—		
	明度	0	0	0	0	0	0	—		
Blue	色相	0	0	0	0	0	0	—		
	彩度	0	0	0	0	0	0	—		
	明度	0	0	0	0	0	0	—		

参考

- CAL1 / CAL2 / CAL3は、ColorNaviagtor NXを使用して設定します。モニター本体の設定メニューでは変更できません。
- カラーモードは、入力信号ごとに設定されます。
- 各項目の詳細は、「カラー調整」(P.16)を参照してください。
- 特定のモードを選択できないようにすることができます。詳細は、「モードスキップ」(P.25)を参照してください。

第3章 詳細な調整 / 設定


この章では、設定メニューを使ってモニターを詳細に調整 / 設定する方法を説明します。モニター前面のボタンで設定できる基本的な機能については、「第2章 基本の設定」(P.10)を参照してください。

3-1. 設定メニューの基本操作方法

1. メニューの表示




1. いずれかのボタンを押します (⏻を除く)。
操作ガイドが表示されます。



2.  を選択します。
設定メニューが表示されます。



2. 調整 / 設定

1.   で、調整 / 設定したいメニューを選択し、 を選択します。
サブメニューが表示されます。



2. **▲ ▼** で、調整 / 設定したい項目を選択し、**✓** を選択します。
調整 / 設定メニューが表示されます。



3. **< >** で、調整 / 設定し、**✓** を選択して確定します。
サブメニューが表示されます。
調整 / 設定中に **✕** を選択すると、調整 / 設定を中止して変更前の状態に戻ります。

3. 終了

1. **✕** を選択します。
設定メニューが表示されます。
2. **✕** を選択します。
設定メニューが終了します。

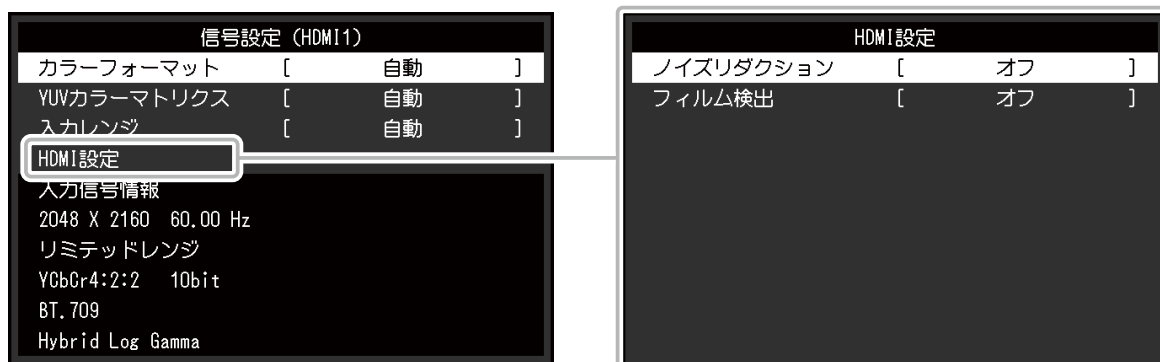
参考

- ・ ガイドの表示内容は、表示しているメニューや状態によって異なります。

3-2. 設定メニューの各機能

● 信号設定

画面の表示サイズやカラーフォーマットなど、入力信号の詳細を設定します。



機能	設定範囲	説明
カラーフォーマット	自動 YUV 4:2:2 ^{※1} YUV 4:4:4 ^{※1} YUV ^{※2} RGB	入力信号のカラースペースを指定できます。 正しい色が表示できない場合に、設定を変更してみてください。 YUV 4:2:0を入力する場合は、「自動」を選択してください。

※1 HDMI入力の場合のみ有効

※2 DisplayPort入力の場合のみ有効

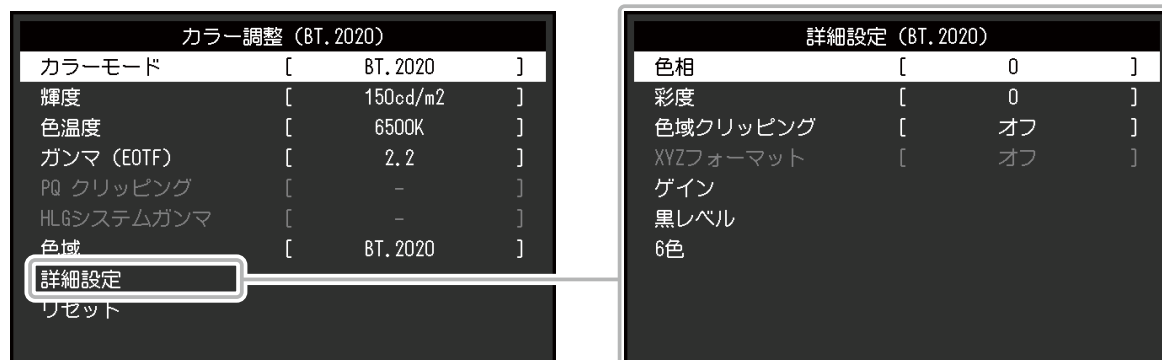
機能	設定範囲	説明	
YUVカラーマトリクス	自動 BT.601 BT.709 BT.2020	入力信号のYUV形式を選択します。入力信号の問題で階調潰れなど正しく画像が表示できない場合に使用します。	
入力レンジ	自動 フル リミテッド (109% 白) リミテッド SDIフル	外部機器によっては、モニターに出力する信号のビデオレベルの黒および白が制限されていることがあります。制限されたままモニターに信号を表示すると、黒が淡く、白がくすんで表示され、コントラストが低下します。このような信号を、モニター本来のコントラスト比になるように、輝度レンジを拡張して表示することができます。 <ul style="list-style-type: none"> 「自動」 入力信号の輝度レンジを自動的に判別し、適切に表示します。 「フル」 入力信号の輝度レンジの拡張をおこないません。 「リミテッド (109% 白)」 入力信号の輝度レンジを16~254 (10ビット：64~1019) から0~255 (10ビット：0~1023) に拡張して表示します。 「リミテッド」 入力信号の輝度レンジを16~235 (10ビット：64~940) から0~255 (10ビット：0~1023) に拡張して表示します。 「SDIフル」 入力信号の輝度レンジを1~254 (10ビット：4~1019) から0~255 (10ビット：0~1023) に拡張して表示します。 	
HDMI設定	ノイズリダクション	オン オフ	映像の暗い部分に発生する細かいノイズを低減します。映像のノイズやざらつきを低減したい場合に使用します。 参考 <ul style="list-style-type: none"> HDMI入力の場合のみ設定できます。 ノイズリダクション機能を利用すると、精細な画像が損なわれる場合があります。
	フィルム検出	オン オフ	インターレース信号を表示する際に、表示方法を選択できます。映画、CG、アニメーションなどの、毎秒24コマあるいは毎秒30コマの信号を自動的に判別して最適な画像を表示します。 参考 <ul style="list-style-type: none"> HDMI入力の場合のみ設定できます。 「フィルム検出」を「オン」に設定した場合に、映像に違和感があるときは、「オフ」に変更してください。 「フィルム検出」は1080iの信号入力時のみ有効です。
入力信号情報	—	入力信号の情報を確認できます。表示される情報は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 解像度 垂直走査周波数 入力レンジ カラーフォーマット 色深度 カラリメトリ EOTF 注意点 <ul style="list-style-type: none"> HDMI入力で「入力信号情報」に「SMPTE170M/BT.709」と表示されている場合、出力機器からの信号を正しく表示できない可能性があります。出力機器の設定を変更するか、DisplayPort入力をお勧めします。 	

● カラー調整

選択しているカラーモードによって設定内容が異なります。

カラーモードがStandard Mode (BT.2020 / BT.709 / DCI / PQ_BT.2100 / PQ_BT.709 / PQ_DCI / HLG_BT.2100) の場合

各カラーモードの設定状態を、お好みにあわせて調整できます。



注意点

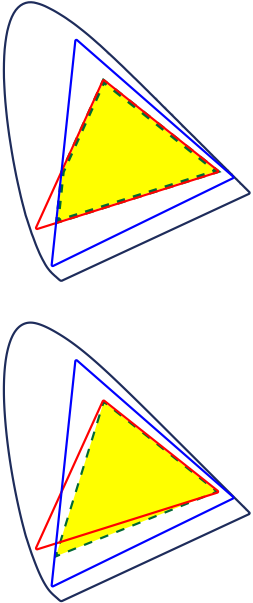
- ・モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- ・「cd/m²」、「K」、「%」表示は調整の目安としてご利用ください。

機能	設定範囲	説明
カラーモード	BT.2020 BT.709 DCI PQ_BT.2100 PQ_BT.709 PQ_DCI HLG_BT.2100 CAL1 CAL2 CAL3	モニターの用途に応じた表示モードに切り替えます。 参考 <ul style="list-style-type: none"> ・各モードの切り替え方法は、「2-3.表示モード (カラーモード) を切り替える」(P.11)を参照してください。 ・「CAL1 / CAL2 / CAL3」については、P.19を参照してください。
輝度	48cd/m ² ～1000cd/m ²	バックライト (液晶パネル背面の光源) の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。 参考 <ul style="list-style-type: none"> ・設定できない値が選択されている場合は、値がマゼンタで表示されます。値を変更してください。 ・48cd/m²～300cd/m²の間は1刻みで、300cd/m²～1000cd/m²の間は100刻みで設定できます。

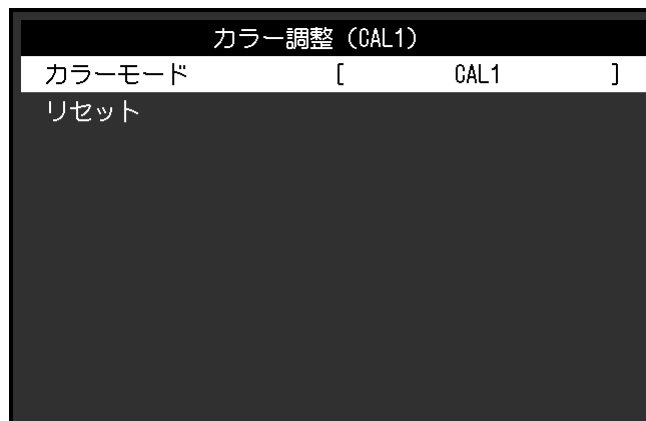
機能	設定範囲	説明
色温度	Native 4000 K ~10000 K D50 D65 DCI User	色温度を調整します。 「白」の色度を表現するとき用いられるもので、K: Kelvin (ケルビン) という単位で表します。 炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。 100K単位で色温度値を設定するか、規格名を選択します。 参考 <ul style="list-style-type: none"> 「Native」を選択すると、パネル本来の色 (ゲインの値はRGB各100%) で表示されます。 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です。ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。 色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。
ガンマ (EOTF)	1.6~2.7 sRGB EBU(2.35) PQ HLG	ガンマ値を調整します。 モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。 ガンマ値を設定するか、規格名を選択します。 参考 <ul style="list-style-type: none"> 「HLG」を選択すると「HLGシステムガンマ」を設定する必要があります。
PQクリッピング	300cd/m ² 500cd/m ² 1000cd/m ² 4000cd/m ² オフ	モニターに入力されたPQ信号に対して、ここで設定した値以上の輝度をもつ領域を、この設定値でクリップして表示します。 参考 <ul style="list-style-type: none"> 「ガンマ (EOTF)」で「PQ」を指定している場合に設定できます。 クリップされた領域を確認することができます。詳細は、「輝度警告」 (P.22) を参照してください。
HLGシステムガンマ	1.0~1.5	モニターに入力されたHLG信号に対するシステムガンマ値を調整します。 参考 <ul style="list-style-type: none"> 「ガンマ (EOTF)」で「HLG」を指定している場合に設定できます。
色域	Native Adobe®RGB sRGB EBU BT.709 BT.2020 SMPTE-C DCI	モニターの色再現域 (色域) を設定します。 表現できる色の範囲を「色域」といい、複数の規格が定義されています。 参考 <ul style="list-style-type: none"> 「Native」を選択すると、パネル本来の色域で表示されます。 定義された色域のうち、モニターが表示できない範囲の色の表示方法を設定することができます。詳細は、「色域クリッピング」 (P.18) を参照してください。

	機能	設定範囲	説明
詳細設定	色相	-100~100	色相を調整します。 参考 <ul style="list-style-type: none"> この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
	彩度	-100~100	彩度を調整します。 参考 <ul style="list-style-type: none"> この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 最小値 (-100) で白黒の画面となります。
	色域クリッピング	オン オフ	<p>「色域」 (P.17) で設定した色域のうち、モニターが表示できない範囲の色の表示方法を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「オン」 モニターが表示できる範囲の色は、規格に合わせて正確に表示します。表示できない範囲の色は飽和します。 「オフ」 色の正確性よりも、階調性を重視して表示します。規格で定義された色域の頂点を、モニターが表示できる範囲に移動します。これにより、モニターが表示できる最も近い色で表示します。 <div style="text-align: right;">  </div> <p> — モニターが表示できる色域 — 規格で定義された色域 - - - 画面に表示する色域 </p> <p>参考 <ul style="list-style-type: none"> 上図は概念図であり、製品の実際の色域を示すものではありません。 この設定は「色域」 (P.17) で「Native」を選択すると無効になります。 </p>
XYZフォーマット	オン オフ	この機能を「オン」に設定すると、デジタルシネマ用のXYZ信号をモニターに表示できます。 参考 <ul style="list-style-type: none"> 「色域」 (P.17) が「DCI」に設定されている場合のみ設定できます。 「オン」を選択すると、「色域」の設定ができなくなります。 	
	ゲイン	0~2000	色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色度を変更することができます。 参考 <ul style="list-style-type: none"> この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。 ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。

機能		設定範囲	説明
詳細設定	黒レベル	0~1500	赤、緑、青のそれぞれ、またはすべての黒レベルを調整することにより、黒の明るさ、色度を調整します。黒いテストパターンまたは背景を表示して黒レベルを調整してください。
	6色	-100~100	Magenta、Red、Yellow、Green、Cyan、Blueの色相、彩度、および明度（明るさ）を個別に調整します。
リセット		—	現在選択しているカラーモードのカラー調整値を初期設定に戻します。

カラーモードがCalibration Mode（CALモード：CAL1 / CAL2 / CAL3）の場合

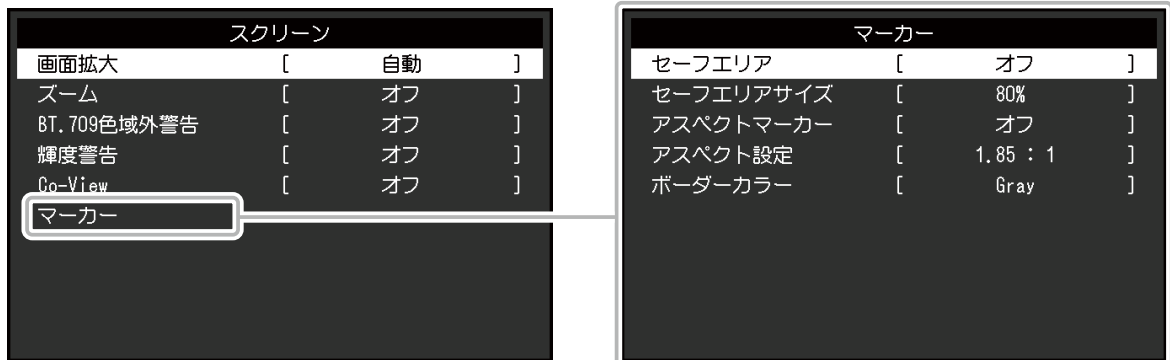
カラーモードを切り替えることができます。

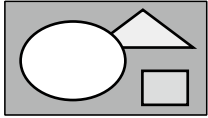
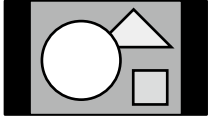



機能	設定範囲	説明
カラーモード	BT.2020 BT.709 DCI PQ_BT.2100 PQ_BT.709 PQ_DCI HLG_BT.2100 CAL1 CAL2 CAL3	モニターの用途に応じた表示モードに切り替えます。 参考 <ul style="list-style-type: none"> 各モードの切り替え方法は、「2-3. 表示モード（カラーモード）を切り替える」（P.11）を参照してください。 「BT.2020 / BT.709 / DCI / PQ_BT.2100 / PQ_BT.709 / PQ_DCI / HLG_BT.2100」については、P.16を参照してください。
リセット	—	現在選択しているカラーモードに設定されている調整目標を初期設定に戻します。


● スクリーン

画面の表示サイズやカラーフォーマットなど、入力信号の詳細を設定します。



機能	設定範囲	説明
画面拡大	自動 フルスクリーン アスペクト比固定 等倍	<p>モニター画面に表示するサイズを切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自動」 入力信号の解像度情報とアスペクト比情報に応じて、自動的に表示サイズを切り替えます。 「フルスクリーン」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。 「アスペクト比固定」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。 「等倍」 設定した解像度のまま、または入力信号のままの大きさを画像が表示されます。 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定例 <ul style="list-style-type: none"> - フルスクリーン  - アスペクト比固定  - 等倍 (入力信号) 

機能	設定範囲	説明
ズーム	オフ 中央 左下 左上 右上 右下	<p>4K2K信号（解像度が4096×2160または3840×2160の信号）を画面に表示している場合、指定した領域を2倍に拡大表示することができます。映像の細部を確認するときなどに便利です。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「管理者設定」メニューの「表示設定」(P.32)が「2画面」の場合は使用できません。 ・HDMIの4K 60Hz / 50Hz信号を入力している場合は使用できません。
BT.709色域外警告	オフ クリップ オン	<p>ITU-RのBT.2020規格に準拠した信号を入力している場合、BT.709規格の色域を超える色の表示方法を設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「オフ」 BT.2020の色域のまま表示します。 (モニターに表示される実際の色域は「色域クリッピング」(P.18)の設定によります。) <div style="text-align: center;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「クリップ」 BT.709の色域外の色をBT.709の色域内で表現（クリップ）します。 <div style="text-align: center;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「オン」 BT.709の色域外の色をグレーで表示します。 <div style="text-align: center;"> </div> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この機能は、「色域」(P.17)が「BT.2020」に設定されている場合のみ設定できます。 ・この機能を「オン」または「クリップ」にすると、「輝度警告」機能が自動的に「オフ」になります。





機能		設定範囲	説明
輝度警告		オフ オン(Yellow) オン(Magenta)	<p>入力信号に対して、PQ クリッピング機能で設定した輝度よりも高い輝度をもつ領域（クリッピングされた領域）を確認することができます。</p> <p style="text-align: right;">例：オン(Magenta)を設定</p>  <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能を「オン」に設定すると、「BT.709色域外警告」機能が自動的に「オフ」になります。
Co-View		オフ オン	<p>この機能を「オン」に設定すると、複数人でモニターを確認するなど、より広いアングルからモニターを確認する場合でも違和感のない表示にします。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能を「オン」に設定すると、ハロー現象が発生する場合があります。
マーカー	セーフエリア	オフ オン	<p>セーフエリアとは、どのような表示機器でも表示できる領域のことをいいます。</p> <p>この機能を「オン」に設定すると、映像編集などの際にセーフエリアの枠を表示して、字幕やメニュー画面などがセーフエリア内に収まるように目で確認しながら配置することができます。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 「管理者設定」メニューの「表示設定」(P.32)を「2画面」に設定している場合は、左右の画面が同じ解像度のときのみセーフエリアの枠が表示されます。 「アスペクトマーカー」を「オフ」以外に設定すると、セーフエリアの設定は自動的に「オフ」になります。
	セーフエリアサイズ	80%~99%	セーフエリアのサイズを設定することができます。

機能		設定範囲	説明
マーカー	アスペクトマーカー	オフ マーカー 1 マーカー 2	デジタルシネマで規定されている映像サイズのアスペクト比に対応する枠を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・「オフ」 アスペクトマーカーを表示しません。 ・「マーカー 1」 外枠を表示します。 ・「マーカー 2」 外枠と3等分した時の境界線を表示します。 構図の確認に利用できます。 参考 <ul style="list-style-type: none"> ・ 次のいずれかの条件を満たす場合に設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> - 「管理者設定」メニューの「表示設定」(P.32)が「1画面」で、表示解像度が2048×1080または4096×2160 - 「管理者設定」メニューの「表示設定」(P.32)が「2画面」で、左右の解像度が同じで、合わせてDCI 2K/4Kの解像度になっている ・ 4096×2160の信号を表示している場合、左右の外枠は表示されません。 ・ 「セーフエリア」を「オン」にすると、アスペクトマーカーの設定は自動的に「オフ」になります。
	アスペクト設定	1.85 : 1 2.35 : 1 2.39 : 1	表示するアスペクトマーカーのアスペクト比を設定します。
	ボーダーカラー	White Red Green Blue Cyan Magenta Yellow Gray	枠の色を設定することができます。 参考 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「セーフエリア」および「アスペクトマーカー」共通の設定です。

● 本体設定

使用環境やお好みに合わせて、モニター本体の設定をおこないます。

本体設定		
USB CHARGE ポート	[通常]
パワーセーブ	[オン]
オフタイマー	[15h]
ランプ輝度	[4]
入力スキップ		
モードスキップ		
カスタムキー		
オールリセット		

機能	設定範囲	説明
USB CHARGE ポート	通常 充電専用	<p>モニターのUSBダウンストリームポートの  ポートはUSB 3.0の急速充電に対応しています。この設定を「充電専用」に変更することで、 ポートに接続した機器を、「通常」設定時より早い時間で充電できます。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> この設定を切り替える前に、モニターに接続しているすべてのUSB機器とコンピュータとの通信を終了してください。設定を切り替えるときに、すべての通信が一時的に遮断されます。  ポートに接続した機器が、急速充電に対応している必要があります。 「充電専用」に設定すると、 ポートではコンピュータと接続機器間のデータ通信ができなくなり、接続機器は動作しません。 「充電専用」に設定すると、モニターとコンピュータをUSBケーブルで接続していない場合でも充電が可能です。
パワーセーブ	オン オフ	<p>外部機器の状態と連動して、モニターを省電力モードにすることができます。</p> <p>信号が入力されなくなったことを検出してから、約15秒後に省電力モードに移行します。省電力モードに移行すると、画面を非表示にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 省電力モードからの復帰方法 <ul style="list-style-type: none"> - モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 省電力モードの移行の5秒前になると、移行をお知らせするメッセージが表示されます。 モニターを使用しない時は、主電源スイッチをオフにすることで電力が消費されなくなります。 省電力モードの場合も、USBダウンストリームポートに接続している機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。

機能		設定範囲	説明
オフタイマー		オフ 6h 9h 12h 15h 18h	<p>モニターの電源を自動的に切るための時間を設定します。モニターの電源を入れてから、またはモニターがパワーセーブから復帰してから、ここで設定した時間が経過すると自動的に電源がオフになります。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> オフタイマーが作動する1分前になると、モニターの電源がオフになることをお知らせするメッセージが表示されます。 メッセージが表示されている間は、電源ボタン以外のボタンは操作できません。
ランプ輝度		オフ 1~7	画面表示時の電源ボタンおよび操作ボタンの明るさを設定することができます。(初期設定：4)
入力スキップ		スキップ -	<p>入力信号を切り替えるときに、使用しない入力信号をスキップすることができます。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての入力信号を「スキップ」にすることはできません。
モードスキップ		スキップ -	<p>モードを選択するときに、使用しないモードをスキップすることができます。表示するモードが限定されている場合や、表示状態をむやみに変更したくない場合にご利用ください。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのモードを「スキップ」にすることはできません。
カスタムキー	[F1]	オフ 入力レンジ ズーム BT.709色域外警告 輝度警告 Co-View セーフエリア アスペクトマーカ カラーモードリターン インフォメーション	<p>[F1]キーに割り当てる機能を設定することができます。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期設定では、「輝度警告」機能が設定されています。 カスタムキーについては、「第4章 カスタムキーの設定 (P.27)」を参照してください。
	[F2]	オフ 入力レンジ ズーム BT.709色域外警告 輝度警告 Co-View セーフエリア アスペクトマーカ カラーモードリターン インフォメーション	<p>[F2]キーに割り当てる機能を設定することができます。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期設定では、「インフォメーション」機能が設定されています。 カスタムキーについては、「第4章 カスタムキーの設定 (P.27)」を参照してください。
オールリセット		-	「管理者設定」メニュー内の設定を除く、すべての設定内容を初期設定に戻します。

● 言語選択

メニューやメッセージの表示言語を選択することができます。

設定範囲

English、Deutsch、Français、Español、Italiano、Svenska、日本語、簡体中文、繁體中文



● インフォメーション

モニターの情報（製造名、製造番号、ファームウェアバージョン、使用時間）と、入力信号の情報を確認することができます。

例：



第4章 カスタムキーの設定

カスタムキーに機能を割り当てることで、特定の機能を簡単に起動することができます。
また、カスタムキーには任意の機能を割り当てることができます。
この章では、カスタムキーの操作方法とカスタムキーに機能を割り当てる方法を説明します。

4-1. カスタムキーの基本操作方法

1. 操作ガイドの表示

1. いずれかのボタンを押します（**⏻**を除く）。
操作ガイドが表示されます。



2. 実行

1. **F1** または **F2** を選択します。
F1 または **F2** に割り当てられた機能が実行されます。

参考

- ・ カスタムキーに機能が割り当てられていない場合にカスタムキーを押すと、カスタムキーへの機能割り当てメニューが表示されます。

4-2. カスタムキーの割り当て方法

1. 操作ガイドの表示

1. いずれかのボタンを押します（**⏻**を除く）。
操作ガイドが表示されます。

2. 設定

1. **☰** を選択します。
設定メニューが表示されます。



2. **▲ ▼** で、「本体設定」を選択し、**✓** を選択します。
本体設定メニューが表示されます。

本体設定		
USB CHARGE ポート	[通常]
パワーセーブ	[オン]
オフタイマー	[15h]
ランプ輝度	[4]
入カスキップ		
モードスキップ		
カスタムキー		
オールリセット		

3. **▲ ▼** で、「カスタムキー」を選択し、**✓** を選択します。
カスタムキーメニューが表示されます。

カスタムキー		
F1	[輝度警告]
F2	[Co-View]

4. **▲ ▼** で、機能を割り当てるカスタムキーを選択し、**✓** を選択します。
割り当てる機能メニューが表示されます。

F1
オフ
入力レンジ
ズーム
BT. 709色域外警告
輝度警告
Co-View
セーフエリア
アスペクトマーカー
カラーモードリターン
インフォメーション

5. **▲ ▼** で、割り当てる機能を選択し、**✓** を選択します。
カスタムキーに機能が割り当てられます。

3. 終了

1. **✕** を数回選択します。
設定メニューが終了します。

● カスタムキーに割り当てられる機能

機能	説明																																												
オフ	指定したカスタムキーを無効にします。																																												
入力レンジ	入力レンジ機能を設定します。P.15を参照してください。																																												
ズーム	ズーム機能を設定します。P.21を参照してください。																																												
BT.709色域外警告	BT.709色域外警告機能を設定します。P.21を参照してください。																																												
輝度警告	輝度警告機能を設定します。P.22を参照してください。																																												
Co-View	Co-View機能を設定します。P.22を参照してください。																																												
セーフエリア	セーフエリア機能を設定します。P.22を参照してください。																																												
アスペクトマーカー	アスペクトマーカー機能を設定します。P.23を参照してください。																																												
カラーモードリターン	前回使用していたカラーモードに戻ることができます。2つのカラーモード間で、表示の違いを確認する場合に便利です。																																												
インフォメーション	<p>入力信号の情報、およびカラー情報を表示することができます。</p> <p>例：</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">インフォメーション (1/2)</th> <th colspan="2">インフォメーション (2/2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">信号設定</td> <td colspan="2">カラー調整</td> </tr> <tr> <td>カラーフォーマット</td> <td>自動 (YUV 4:2:2)</td> <td>カラーモード</td> <td>BT. 2020</td> </tr> <tr> <td>入力レンジ</td> <td>自動 (リミテッド)</td> <td>輝度</td> <td>100cd/m²</td> </tr> <tr> <td colspan="2">入力信号情報</td> <td>色温度</td> <td>6500K</td> </tr> <tr> <td>HDMI 1</td> <td></td> <td>ガンマ (EOTF)</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>4096 X 2160 60.00 Hz</td> <td></td> <td>PQ クリッピング</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>リミテッドレンジ</td> <td></td> <td>HLGシステムガンマ</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>YCbCr4:2:2</td> <td></td> <td>色域</td> <td>BT. 2020</td> </tr> <tr> <td>BT. 709</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Hybrid Log Gamma</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> モニターの情報は、設定メニューの「インフォメーション」 (P.26) で確認することができます。 	インフォメーション (1/2)		インフォメーション (2/2)		信号設定		カラー調整		カラーフォーマット	自動 (YUV 4:2:2)	カラーモード	BT. 2020	入力レンジ	自動 (リミテッド)	輝度	100cd/m ²	入力信号情報		色温度	6500K	HDMI 1		ガンマ (EOTF)	2.2	4096 X 2160 60.00 Hz		PQ クリッピング	-	リミテッドレンジ		HLGシステムガンマ	-	YCbCr4:2:2		色域	BT. 2020	BT. 709				Hybrid Log Gamma			
インフォメーション (1/2)		インフォメーション (2/2)																																											
信号設定		カラー調整																																											
カラーフォーマット	自動 (YUV 4:2:2)	カラーモード	BT. 2020																																										
入力レンジ	自動 (リミテッド)	輝度	100cd/m ²																																										
入力信号情報		色温度	6500K																																										
HDMI 1		ガンマ (EOTF)	2.2																																										
4096 X 2160 60.00 Hz		PQ クリッピング	-																																										
リミテッドレンジ		HLGシステムガンマ	-																																										
YCbCr4:2:2		色域	BT. 2020																																										
BT. 709																																													
Hybrid Log Gamma																																													

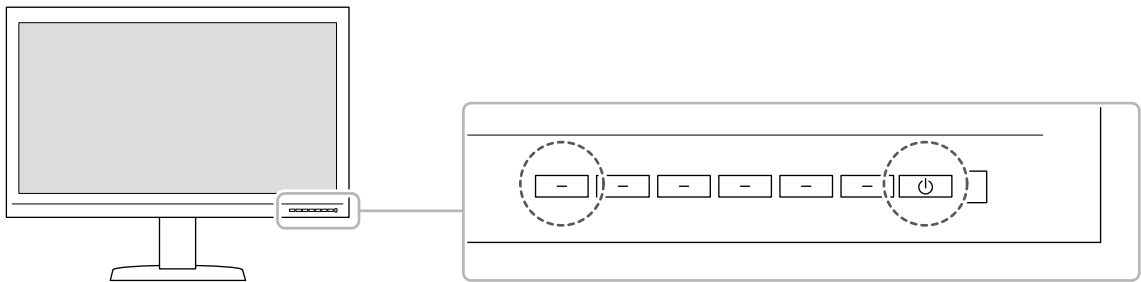
第5章 管理者向け設定

この章では、「管理者設定」メニューを使ってモニターの動作を設定する方法を説明します。
このメニューは管理者用です。通常のモニター使用時には、設定の必要はありません。

5-1. 「管理者設定」メニューの基本操作方法

1. メニューの表示

1. 電源ボタンを押して、モニターの電源を切ります。
2. 一番左側のボタンを押しながら、電源ボタンを2秒以上押してモニターの電源を入れます。

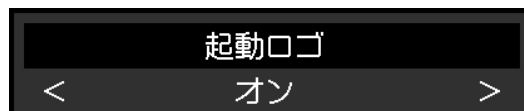


「管理者設定」メニューが表示されます。

管理者設定	
入力自動検出	[オフ]
起動ロゴ	[オン]
操作ロック	[オフ]
互換モード	[オフ]
表示設定	
信号フォーマット	
完了	

2. 設定

1. **↑** **↓** で、設定したい項目を選択し、**✓** を選択します。
調整 / 設定メニューが表示されます。

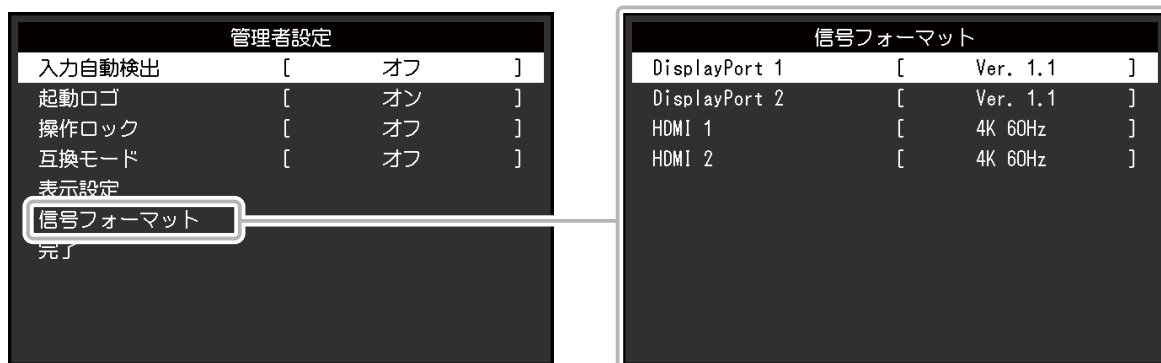




2. **<** **>** で、設定し、**✓** を選択します。
「管理者設定」メニューが表示されます。

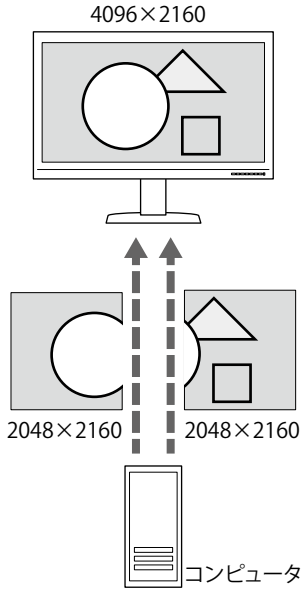
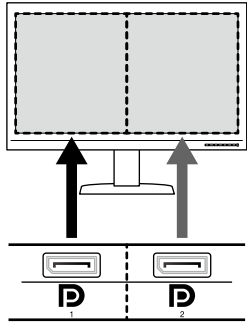
3. 確定と終了

1. 「完了」を選択し、**✓** を選択します。
設定が確定し、「管理者設定」メニューが終了します。

5-2. 「管理者設定」メニューの各機能



機能	設定範囲	説明
入力自動検出	オフ オン	この機能を「オン」に設定すると、信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示することができます。選択しているコネクタの入力信号がなくなると、自動的に他の信号を表示します。 「オフ」に設定すると、信号が入力されているかどうかにかかわらず、選択しているコネクタからの信号が表示されます。この場合は、モニター前面の操作ボタン () で、表示する入力信号を選択してください。
起動ロゴ	オフ オン	この機能を「オフ」に設定すると、製品の電源を入れた際に表示されるEIZOロゴを非表示にすることができます。
操作ロック	オフ メニュー オール	設定した状態を変更できないように、モニター前面の操作ボタンをロックすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・「オフ」 (初期設定) すべてのボタンが有効です。 ・「メニュー」  ボタンをロックします。 ・「オール」 電源ボタンを除くすべてのボタンをロックします。
互換モード	オフ オン	次の現象を回避したい場合は、この機能を「オン」に設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・モニターの電源をオフ/オンした場合や省電力モードからの復帰時に、ウィンドウやアイコンの位置がずれる。 ・コンピュータのパワーセーブ機能が正常に動作しない。

機能		設定範囲	説明
表示設定	DisplayPort	1画面 2画面	<p>1台のコンピュータから2系統の信号をモニターに入力し、左右に並べて画面を表示する場合に、この設定を「2画面」に変更します。</p> <p>例えば、4K2K（4096×2160）の信号出力に対応していないグラフィックボードの場合に、2048×2160、2048×2160の2つの信号を左右に並べて表示させて、4K2Kの画面とするときなどに設定します。</p>  <p style="text-align: center;">4096×2160</p> <p style="text-align: center;">2048×2160 2048×2160</p> <p style="text-align: right;">コンピュータ</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 「2画面」表示の場合、画面の左側にはDisplayPort 1から入力される信号、右側にはDisplayPort 2から入力される信号が表示されます。  <ul style="list-style-type: none"> 「2画面」の場合の対応解像度は次のとおりです。 640×480 / 720×400 / 800×600 / 1024×768 / 1280×960 / 1280×1024 / 1600×1200 / 1920×1080 / 1920×1200 / 1920×2160 / 2048×2160 「2画面」表示の場合、カラー調整の設定などは左側の画面に表示されているコネクタの設定が適用されます。
信号フォーマット	DisplayPort 1 DisplayPort 2	Ver. 1.1 Ver. 1.2 エクストラ	<p>モニターが表示できる信号の種類を切り替えることができます。入力信号が表示されない場合や意図した表示ができない場合に設定を変更してください。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 4K 30Hzと4K 60Hz エクストラの解像度の初期値は、1920×1080です。
	HDMI 1 HDMI 2	4K 30Hz 4K 60Hz 4K 60Hz エクストラ	

第6章 キャリブレーション

ColorNavigator NXと測定器（キャリブレーションセンサー）を使用してキャリブレーションをおこなうことで、モニターの品質を保つことができます。ColorNavigator NXのソフトウェアおよび取扱説明書は当社のWebサイトからダウンロードできます。

www.eizo.co.jp/products/ce/cnnx/index.html


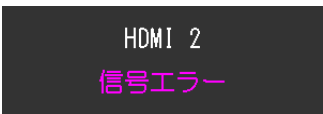
ColorNavigator NXの使用方法については、ColorNavigator NXの取扱説明書を参照してください。

参考

- ソフトウェアを使用する場合は、モニターとコンピュータを付属のUSBケーブルで接続してください。
 - USBケーブルの接続方法は、「[接続方法（USB機能のセットアップ方法）](#)」（P.39）を参照してください。
 - ColorNavigator NXの使用中は、モニター前面の電源ボタンや操作ボタンを操作しないでください。
 - 液晶パネルに接触するようなキャリブレーションセンサーは使用しないでください。
やむをえず使用する場合は、液晶パネルから離して使用してください。
-

第7章 トラブルシューティング


7-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯しない 	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードは正しく接続されていますか。 背面の主電源スイッチを入れてください。 ⏻を押してください。 背面の主電源スイッチを切り、数分後にもう一度スイッチを入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯：青色 	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「輝度」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「カラー調整」(P.16) 参照）。
<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯：橙色 	<ul style="list-style-type: none"> 入力信号を切り替えてみてください。 マウス、キーボードを操作してみてください。 コンピュータの電源は入っていますか。 背面の主電源スイッチを切り、もう一度スイッチを入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点滅：橙色、青色 	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータをDisplayPortコネクタに接続している場合に、この症状が発生することがあります。当社指定の信号ケーブルで接続し、モニターの電源を入れ直してみてください。
2. 次のようなメッセージが表示される	<p>この表示はモニターが正常に機能しているも、信号が正しく入力されていないときに表示されます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 信号が入力されていない場合の表示です。 <p>例：</p> 	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 コンピュータの電源は入っていますか。 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 入力信号を切り替えてみてください。 背面の主電源スイッチを切り、もう一度スイッチを入れてみてください。 HDMI信号入力の場合、設定メニューの「信号フォーマット」を変更してみてください（「信号フォーマット」(P.32) 参照）。
<ul style="list-style-type: none"> 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。 <p>例：</p> 	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（『対応解像度』参照）。 コンピュータを再起動してみてください。 グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

7-2. 画面に関する症状

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	<ul style="list-style-type: none">設定メニューの「輝度」を調整してください（「カラー調整」(P.16) 参照）。液晶モニターのパックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。
2. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none">この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
3. 画面に緑、赤、青、白のドットが残る または点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none">これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
4. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを 押した跡が消えない	<ul style="list-style-type: none">画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
5. 画面にノイズが現れる	<ul style="list-style-type: none">HDCP方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
6. 電源のオフ / オン時や省電力モードから の復帰時に、ウィンドウやアイコンの 位置がずれる	<ul style="list-style-type: none">「管理者設定」メニューの「互換モード」で、設定を「オン」にしてください（「互換モード」(P.31) 参照）。
7. (DisplayPortまたはHDMI信号入力時) 画面の色がおかしい	<ul style="list-style-type: none">設定メニューの「カラーフォーマット」を変更してみてください（「カラーフォーマット」(P.14) 参照）。HDMI信号入力の場合、「管理者設定」メニューの「信号フォーマット」を変更してみてください（「信号フォーマット」(P.32) 参照）。
8. 画面全体に画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">設定メニューの「画面拡大」を変更してみてください（「画面拡大」(P.20) 参照）。

7-3. その他の症状

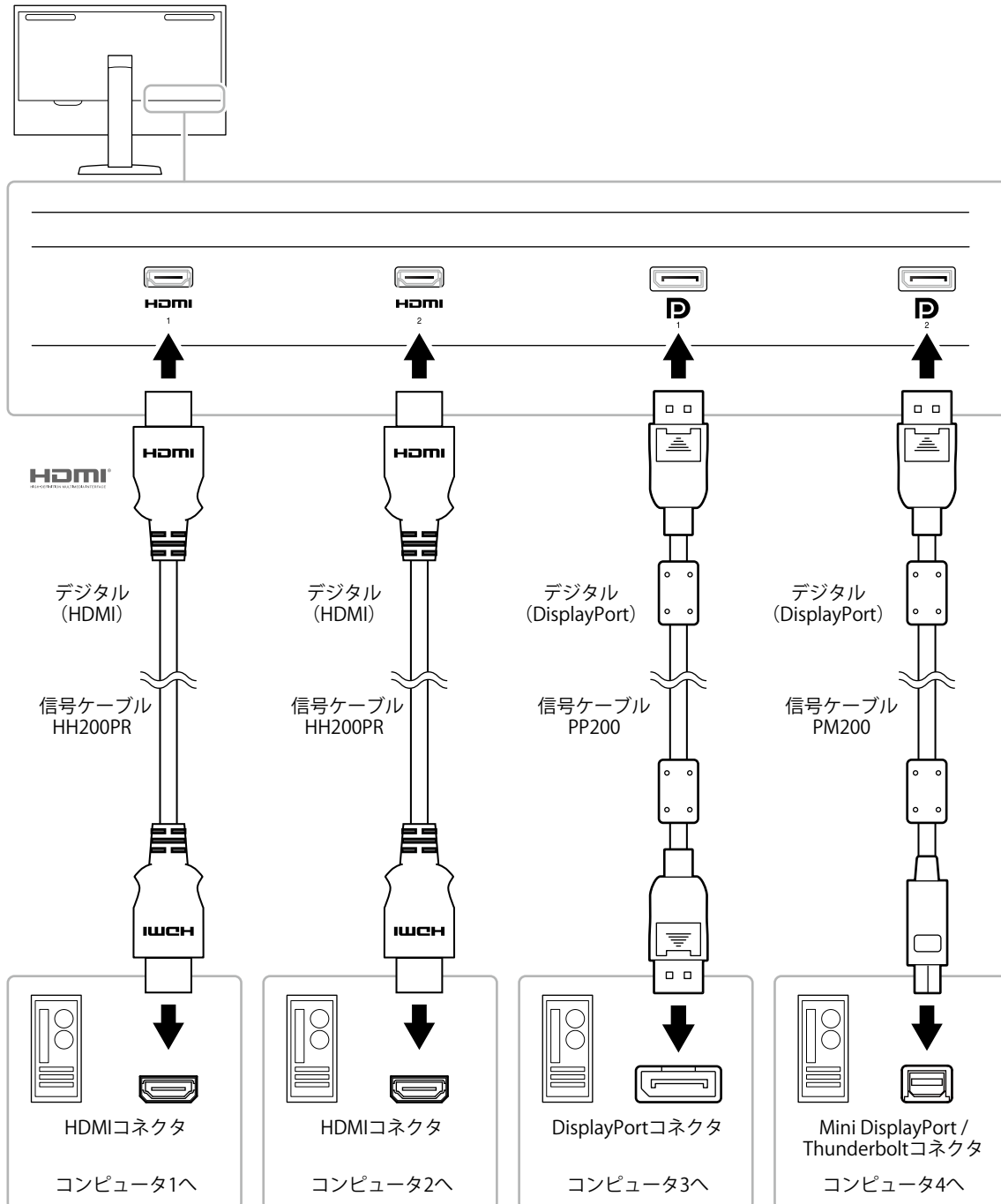
症状	原因と対処方法
1. 設定メニュー/モードメニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> • 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「操作ロック」(P.31) 参照）。 • ColorNavigator NXのメインウィンドウを表示している場合は操作ボタンがロックされています。ソフトウェアを終了してください。
2. USBケーブルで接続したモニターが認識されない/モニターに接続しているUSB周辺機器が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • USBケーブルは正しく接続されていますか（「8-2. USBハブ機能の使用方法」(P.38) 参照）。 • 周辺機器を  ポートに接続している場合は、「USB CHARGE ポート」の設定を確認してみてください（「USB CHARGE ポート」(P.24) 参照）。「充電専用」に設定されている場合、周辺機器は動作しません。 • コンピュータの別のUSBポートに差し替えてみてください。 • モニターの別のUSBポートに差し替えてみてください。 • コンピュータを再起動してみてください。 • 直接コンピュータと周辺機器を接続してみて、周辺機器が正しく動作した場合は、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。 • ご使用のコンピュータおよびOSがUSBに対応しているかご確認ください（各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください）。 • ご使用のUSB 3.0ホストコントローラーによっては、接続したUSB機器を正しく認識できない場合があります。各メーカーが提供する最新のUSB 3.0ドライバに更新するか、USB 2.0ポートとモニターを接続してください。 • Windowsをご使用の場合、コンピュータに搭載されているBIOSのUSBに関する設定をご確認ください（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください）。
3. 音声を出不い	<ul style="list-style-type: none"> • この製品はDisplayPort / HDMIの音声信号には対応していません。

第8章 ご参考に


8-1. 複数の外部機器を接続する

この製品は、複数の外部機器を接続し、切り替えて表示することができます。

接続例




参考

- モニター前面の操作ボタン () を押すたびに入力信号が切り替わります。詳細は、「[2-2. 入力信号を切り替える](#)」(P.11) を参照してください。
- 信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示することもできます。詳細は、「[入力自動検出](#)」(P.31) を参照してください。

8-2. USBハブ機能の使用方法

この製品はUSBハブを搭載しています。USB対応のコンピュータに接続することにより、この製品がUSBハブとして機能し、USBに対応している周辺機器と接続できます。


参考

- この製品はUSB 3.0に対応しています。USB 3.0に対応した周辺機器を接続すると、高速のデータ通信が可能になります（コンピュータおよび周辺機器との接続に使用するUSBケーブルが、USB 3.0に対応している場合のみ）。
- USBダウンストリームポートの  ポートは急速充電にも対応しています。短時間でスマートフォンやタブレットを充電することができます。（「USB CHARGE ポート」 (P.24) 参照）

● 必要なシステム環境

- USBポートを搭載したコンピュータ
- Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7またはMac OS X 10.7.5以降
- USBケーブル（UU200SS（USB 3.0））

注意点

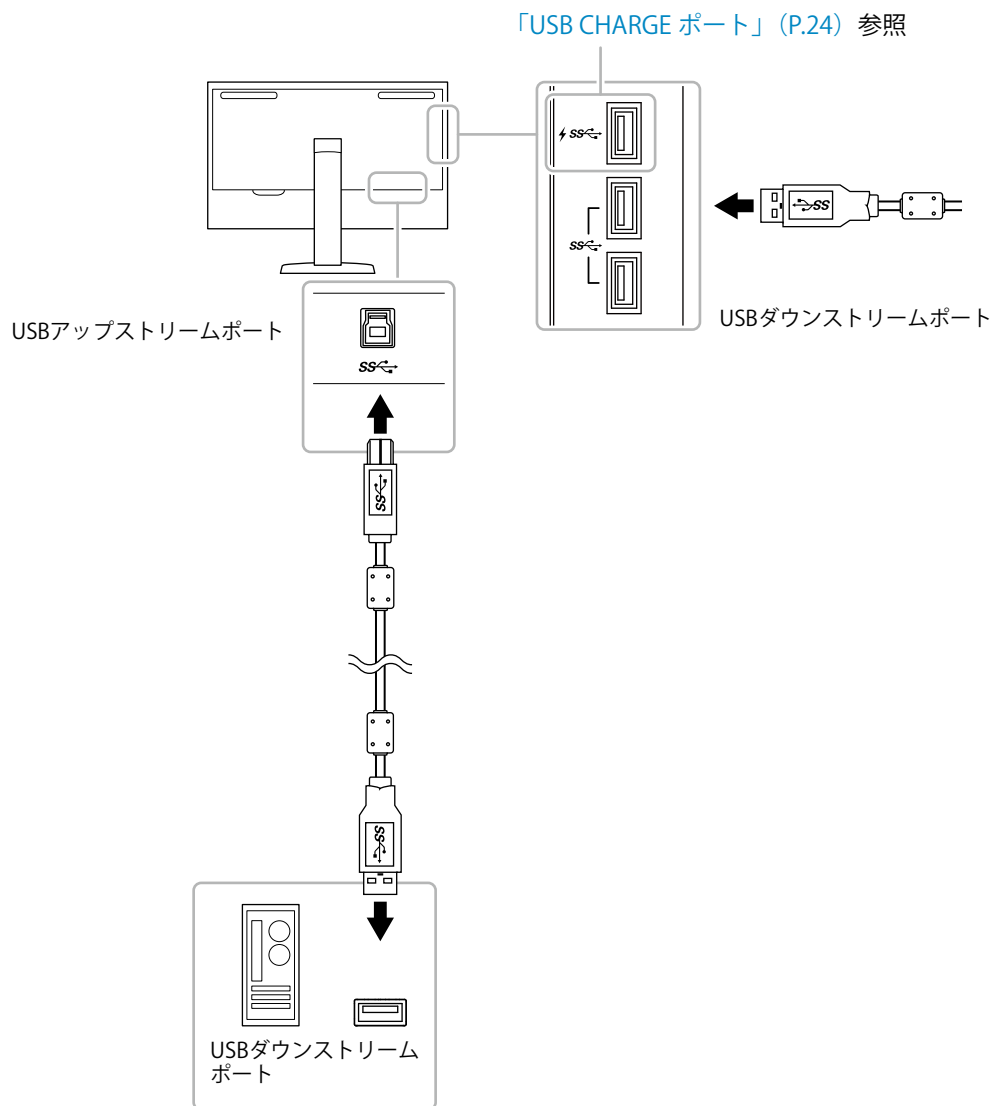
- 使用するコンピュータ、OSおよび周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください。
- モニターが省電力モードの場合も、USBダウンストリームポートに接続している機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- 主電源スイッチオフ時、USBダウンストリームポートに接続されている機器は動作しません。
- 「本体設定」の「USB CHARGE ポート」が「充電専用」に設定されている場合、 ポートに周辺機器を接続しても動作しません。
- 「USB CHARGE ポート」の設定を切り替える前に、モニターに接続しているすべての周辺機器とコンピュータとの通信を終了してください。設定を切り替えるときに、すべての通信が一時的に遮断されます。

● 接続方法 (USB機能のセットアップ方法)



1. コンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し、コンピュータを起動しておきます。
2. USB対応のコンピュータのUSBダウンストリームポートとモニターのUSBアップストリームポートをUSBケーブルで接続します。

USBケーブルの接続により自動的にUSBのハブ機能がセットアップされます。

3. USB対応の周辺機器をモニターのUSBダウンストリームポートに接続します。



8-3. 仕様

液晶パネル	種類	IPS（アンチグレア）
	バックライト	広色域LED
	サイズ	78.9cm（31.1）型
	解像度	4096ドット×2160ライン
	表示面積（横×縦）	698.0mm×368.1mm
	画素ピッチ	0.170mm×0.170mm
	表示色	約10億7374万色：10-bit対応（24-bit LUT）
	視野角（水平 / 垂直、標準値）	178° / 178°
	最大輝度（標準値）	1000cd/m ²
	コントラスト比（標準値）	1,000,000 : 1
	応答時間（標準値）	黒→白→黒：20ms 中間階調域：10ms
色域表示（標準値）	DCIカバー率 99 %、NTSC比 109 %	
映像信号	入力端子	HDMI×2：8bit、10bit、12bit対応※1（HDCP対応） DisplayPort×2：8bit、10bit対応（HDCP対応） ※1 画面表示は最大10bitになります。
	水平走査周波数	HDMI：15kHz～136kHz DisplayPort：25kHz～137kHz
	垂直走査周波数	23Hz～61Hz（720×400時：69Hz～71Hz）
	フレーム同期モード	23.75Hz～30.25Hz、47.5Hz～60.5Hz
	ドットクロック（最大）	HDMI：600.0MHz DisplayPort：598.3MHz
USB	ポート	アップストリーム×1 ダウンストリーム×3（  ポートは急速充電に対応）
	規格	USB Specification Rev.3.0 USB Battery Charging Specification Rev.1.2
	通信速度	5Gbps（スーパースピード）、480Mbps（ハイスピード）、 12Mbps（フルスピード）、1.5Mbps（ロースピード）
	供給電源	ダウンストリーム：最大900mA/2ポート ダウンストリーム（  ポート）： 通常 最大1.5A/1ポート、充電専用 最大2.1A/1ポート
電源	電源入力	AC 100V±10 %、50/60 Hz 4.80A
	最大消費電力	472W以下
	省電力時消費電力	1.2W以下 （互換モード：オフ、USB CHARGE ポート：通常、USB機器 非接続時）
	待機時消費電力	0.7W以下 （互換モード：オフ、USB CHARGE ポート：通常、USB機器 非接続時）
機構（標準スタンド仕様）	外観寸法（遮光フード非装着）	高さ最小：757mm×487mm×323mm（幅×高さ×奥行） 高さ最大：757mm×603mm×323mm（幅×高さ×奥行）
	質量（遮光フード非装着）	約29.2kg
	昇降	116mm
	スウィーベル	344°
機構（ベーススタンド仕様）	外観寸法（遮光フード非装着）	757mm×488mm×236.5mm（幅×高さ×奥行）
	質量（遮光フード非装着）	約25.8kg
動作環境条件	温度	0°C～30°C
	湿度	20 %～80 %（R.H.,結露なきこと）
	気圧	540hPa～1060hPa

輸送/保存環境条件	温度	-20°C~60°C
	湿度	10%~90% (R.H.,結露なきこと)
	気圧	200hPa~1060hPa

● オプション

信号ケーブル	PP200 (DisplayPort - DisplayPort) PM200 (Mini DisplayPort - DisplayPort) HH200PR (HDMI - HDMI)
--------	--

オプション品に関する最新情報は、当社のWebサイトを参照してください。www.eizo.co.jp

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。



USB Power Delivery Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の商標です。



DICOMは、National Electrical Manufacturers Associationが所有する、医用情報のデジタル通信に関する規格の登録商標です。

Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

AdobeはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、macOS、Mac OS、OS X、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i-Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、SafeGuard、Screen Administrator、Screen InStyle、ScreenCleaner、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の登録商標または商標です。

ライセンス

この製品上で表示される文字には、リコーインダストリアルソリューションズ株式会社が制作したビットマップフォントを使用しています。

VCCI

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

保証書について

この製品の保証書はセットアップガイドにあります。必要事項をご記入の上、購入日が分かる書類（レシートなど）とともに保管してください。

修理を依頼されるとき

保証期間中の場合

保証書の規定に従い、修理または交換をさせていただきます。

保証期間を過ぎている場合

修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- ・ お名前、ご連絡先の住所、電話番号 / FAX番号
- ・ お買い上げ年月日、販売店名
- ・ 製品名、製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベルに表示されている8桁の番号です。例：S/N 12345678）
- ・ 使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード / OS、システムのバージョン / 表示解像度など）
- ・ 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）
- ・ エラーコード（画面に表示された場合）

製品回収、リサイクルシステムについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。当社は、使用済みモニターの回収、リサイクル体制を構築しており、お客様がこの製品をご使用後に廃棄する際は次の要領でお引き取りしています。なお、詳細な情報については、当社のWebサイトもあわせて参照してください。

www.eizo.co.jp

法人のお客様

この製品は、法人のお客様が使用后産業廃棄物として廃棄される場合、有償で一般社団法人「パソコン3R推進協会」がお引き取りいたします。当社のWebサイトよりお申し込みください。

www.eizo.co.jp

個人のお客様

・ PCリサイクルマークの無償提供について

この製品は、PCリサイクル対象製品です。当社では、この製品をご購入いただいた個人のお客様にPCリサイクルマークを無償でご提供しております。ご購入後すぐに、当社のWebサイトよりお申し込みください。

(www.eizo.co.jp)

マークは本体背面部のラベルの近くに貼り付けてください。

一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センター

EIZO Webサイト：www.eizo.co.jp/support/recycle/personal/index.html

※「PCリサイクルマーク申込」からお入りください。

(回収担当窓口は、一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センターにて対応いたします。)

申し込みには、本体の背面部のラベル上に記載されている製品名と製造番号が必要となります。

・ PCリサイクルマークについて



個人のお客様が、このマークが付いた当社製品の回収を一般社団法人 パソコン3R推進協会内 パソコンリサイクル受付センターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金を負担いただくことなく回収、再資源化いたします。

・ お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、一般社団法人 パソコン3R推進協会内 パソコンリサイクル受付センターまでお願いいたします。

一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センター

電話：044-540-0576

月曜日～金曜日（祝日および同センター指定の休日を除く）10：00～17：00

